

令和元年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~					
	施策	20 循環型社会 - 資源循環型社会の構築を一層進めます -					
重点プロジェクト							
主管課	市民活動推進部 環境課					評価責任者	浦谷 健二
						評価日	令和2年7月2日
関連課							
目標 3R行動の更なる浸透により、ごみの排出量を削減し、資源の有効利用を図ります。また、環境センターを環境教育の拠点として、エネルギーや自然環境などを含めた市民の環境意識を高め、エコライフスタイルの定着につなげます。							
施策目標の実現に向けた取組 (1) 廃棄物の減量化・再資源化の推進 ○環境教育の情報・活動拠点として環境センターを活用し、市民の環境意識を高めます。 ○廃棄物の発生抑制と減量化に向けた啓発活動を実施します。 ○「もやさないごみ」として排出される使用済小型家電を選別し、レアメタルをリサイクルするなど、限りある資源の有効利用を進めます。 (2) 廃棄物の適正処理の推進 ○循環型社会に適したごみ処理システムの構築を行います。 ○事業系一般廃棄物は、事業者責任の原則を踏まえ、排出抑制、分別の徹底、リサイクル化への取組などを事業者働きかけます。 ○最終処分場の適正な管理を行います。							

2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	1人1日当たりの家庭系ごみの排出量(廃棄量)					
		説明	家庭系ごみの排出量(廃棄量) / 人口 / 365日					
		単位	g					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	594.60	592.00	589.00	587.00	585.00	580.00
		実績値	590.00	601.00				
	指標 2	指標名	リサイクル率					
		説明	総資源化量 / 総ごみ排出量 焼却灰リサイクル除く					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	23.50	24.10	24.60	25.20	25.80	26.40
		実績値	21.60	21.20				
	指標 3	指標名						
		説明						
		単位						
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標 4	指標名						
		説明						
単位								
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	1,569,646	1,645,305	1,742,949			
	人件費	87,516	102,271	82,895			
収入	特定財源	468,697	493,816	602,167			
	一般財源	1,188,465	1,253,760	1,223,677			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	廃棄量の減量化	小学4年生への環境センター見学会、小学校及び自治会への出前講座、環境学習講座、エコラボフェスタ、楽ママ*フリーマーケットを実施し、また、市報、ホームページ、ごみ分別アプリ等による3Rの啓発を図った。	環境センター見学会 小学4年生9校 出前講座 小学校4校 自治会1箇所 環境講座の実施 30回 エコラボフェスタ 参加者2,500人 楽ママ*フリーマーケット 参加者450人 1人1日当たりの家庭系ごみの排出量 平成30年度591g 令和元年度601g	3R推進事業
取組	廃棄物の再資源化	小学4年生への環境センター見学会、小学校及び自治会への出前講座、環境学習講座、エコラボフェスタ、楽ママ*フリーマーケットを実施し、また、市報、ホームページ、ごみ分別アプリ等による3Rの啓発を図った。	環境センター見学会 小学4年生9校 出前講座 小学校4校 自治会1箇所 環境講座の実施 30回 エコラボフェスタ 参加者2,500人 楽ママ*フリーマーケット 参加者450人 リサイクル率 平成30年度21.6% 令和元年度21.2%	3R推進事業
取組				
取組				
取組				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	一般廃棄物処理基本計画の4つの基本方針「市民・事業者・市による、排出抑制を中心とした3Rを推進」「環境教育と環境学習の実施」「ものを大切にするための仕組みづくり」「自然環境に配慮した循環型社会をつくるための意識づくりと行動」に基づき、エコラボフェスタや環境学習講座等により、市民や事業者に対し3Rの推進を図った。しかし、ごみ量は全体的に増加する結果となり、これは令和2年度からの粗大ごみ一部有料化や台風被害による災害ごみ発生の影響が主な原因であると考えられる。また、リサイクル率においても低下している。平成26年度から平成30年度まで5年連続で達成している1人1日当たりの家庭系ごみの排出量が少ない市埼玉県内1位を今後も引き続き達成するために、3Rの推進を図り「日本一ごみの少ない美しいまち」を目指す。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		3R推進事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~			
	施策	20 循環型社会 - 資源循環型社会の構築を一層進めます -			
予算費目					
一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費					
所管部課				評価責任者	宮寺 和美
市民活動推進部 環境課				評価日	令和2年7月2日
事務事業期間					
平成25年~					
個別計画 根拠法令・条例等					
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ふじみ野市廃棄物の処理及び再利用に関する条例及び施行規則、ふじみ野市集団資源回収事業報奨金交付要綱、ふじみ野市生ごみ処理容器設置推進事業実施要綱等					
事務事業の内容	事務事業の目的	ごみの排出量及び焼却ごみ量の減少、リサイクル率の向上を目標として、3Rの推進を着実に実行し循環型社会の構築を目指す。一般廃棄物処理基本計画（第3期）に掲げた「みんなで育てる 日本一ごみの少ない美しいまち ふじみ野市」を目指す。			
	事務事業の経緯	ごみ減量化事業、分別推進事業、集団資源回収事業、生ごみ処理容器促進事業、家具等リサイクル推進事業及びごみ・不法投棄苦情等処理事務を平成25年度に統合し「3R推進事業」とした。			
	事務事業の概要	3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進を図る。 市内小学4年生に対して環境センター見学会を実施する。 土曜日や夏休みを中心に3R、自然環境等の様々な環境学習講座を実施する。 小学校、自治会等に対して出前講座を実施する。 生ごみ処理容器ペランダdeキエーロの普及に努める。 集団資源回収の推進を図る。			
	令和元年度の主な取組	ふじみ野市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正を行い、粗大ごみの一部有料化（500円～1,500円に設定）及び事業系一般廃棄物の処理手数料の改定（100円/10kg 220円/10kg）を行った（施行日令和2年4月1日）。市民への周知は、市報及びホームページへの掲載、チラシの全戸配布等を行い、事業者へは、市報及びホームページへの掲載、環境センター搬入受付場所（台貫）での周知、一般廃棄物収集運搬業許可業者に訪問し取引業者への周知の協力を依頼、市商工会会員へのチラシ配布等を行った。市内（13校）の小学4年生に対して環境センター見学会を実施した。市内（4校）の小学5年生に対して地球温暖化及び海洋プラスチック問題の出前講座を実施した。土曜日や夏休みを中心に30回の環境学習講座を実施した。			

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	5.72	5.80	5.80
		人件費	46,310	46,273	46,273
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.69	0.66	0.66
	人件費	1,017	1,010	0	
人件費計		47,327	47,283	46,273	
事業費	報酬	250	0	1,376	
	賃金	1,016	1,001	0	
	需用費	5,990	9,052	7,677	
	委託料	334	3,842	72	
	使用料及び賃借料	130	568	660	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	35	35	523	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	2,293	2,220	3,885	
支出合計		56,357	62,990	60,466	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	36	15	39
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	324	7,071	0
		その他	330	210	548
一般財源		55,667	55,694	59,879	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		487	487	515	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	1人1日当たりの家庭系ごみの排出量		
	説明	家庭系ごみの排出量 / 人口 / 365日 目標値は、ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画（第3期）資料編P20表1-7施策実施後の排出量「家庭系1人1日平均排出量」の数値を採用している。		
成果	単位	g		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	596	592	589
	実績値	590	601	
指標 2	指標名	リサイクル率（焼却灰リサイクル除く）		
	説明	総資源化量（資源回収＋収集後資源化＋集団資源回収）／総ごみ排出量 目標値の算出に当たっては、ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画（第3期）資料編の数値を採用している。「資源回収」及び「収集後資源化」はP21表1-8施策実施後の処理量、「集団資源回収」及び「総ごみ排出量」はP20表1-7施策実施後の排出量の数値を採用している。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	23.50	24.10	24.60
	実績値	21.60	21.20	
指標 3	指標名	焼却ごみ量		
	説明	焼却炉に投入されたもやすごみの量 目標値は、ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画（第3期）表1-8施策実施後の処理量「焼却処理対象量（施設搬入量）」の数値を採用している。		
成果	単位	t		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	24,326	24,002	23,593
	実績値	23,945	23,760	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>1 3Rの推進</p> <p>(1) ふじみ野市・三芳町環境センター見学会 参加人数：1,084人</p> <p>(2) 環境学習講座 参加人数：952人 実施回数：30回（エコクッキングを除く）</p> <p>(3) 出前講座 5回（福岡小学校、上野台小学校、西小学校、西原小学校、鶴ヶ舞一丁目町会） <講座内容> 小学校 地球温暖化及び海洋プラスチックごみ問題について 自治会 市のごみの現状、分別方法等</p> <p>(4) 親子エコクッキング体験教室 参加人数：30人</p> <p>(5) エコラボフェスタ 参加人数：2,500人</p> <p>(6) 楽ママ*フリーマーケット 参加人数：450人</p> <p>2 生ごみ処理容器ベランダdeキエーロの普及</p> <p>(1) 頒布実績 24基（うち小型14基）</p> <p>(2) 販売促進活動 4回（環境フェア、産業祭、エコラボフェスタ、キエーロ相談会）</p> <p>3 集団資源回収の推進</p> <p>新聞紙、ダンボール、生きピン等資源物の回収を行うPTAや自治会等の団体に対し、その回収量に応じた報奨金を交付した。参加団体：43 回収量：418,734kg</p> <p>4 資源物持ち去り防止パトロールの実施</p> <p>市内各所で集積所から資源物の持ち去りが多発していることから、防止パトロールを13回（毎月1回程度）行った。持ち去り犯人確保件数：2件</p> <p>5 ごみ分別アプリダウンロード数 6,468件（日本語版6,300件、外国語版168件）</p> <p>6 粗大ごみの一部有料化及び事業系ごみ処理手数料の改訂の周知 「1.事務事業の概要 令和元年度の主な取組」のとおり。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	平成26年度から29年度まで4年連続で達成している1人1日当たりの家庭系ごみの排出量が少ない市県内1位を継続するために、引き続き環境センター見学会及び出前講座の実施、市報、ホームページ及びチラシを活用した各施策の周知、環境学習講座、エコラボフェスタ及びフリーマーケットを実施する。特に海洋プラスチックごみによる人体や生態系への影響が世界規模で危惧されていることからマイバッグ及びマイボトルの利用を市民へ周知する必要がある。
中長期的方向性	令和2年4月から施行した粗大ごみの一部有料化及び事業系ごみ処理手数料の改定に関して、市民及び事業者が混乱しないように丁寧な説明及び対応を行うとともに更なる周知が必要である。粗大ごみの一部有料化に伴い粗大ごみの不法投棄が増えないように不法投棄が多い地域や場所の把握や対策が必要となる。1人1日当たりの家庭系ごみの排出量及びリサイクル率（焼却灰リサイクル除く）は目標未達成であるため、更なるごみの減量及び分別の周知が必要である。

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		一般廃棄物再生・処分確認事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~			
	施策	20 循環型社会 - 資源循環型社会の構築を一層進めます -			
予算費目		一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費			
所管部課		市民活動推進部 環境課	評価責任者	宮寺 和美	
事務事業期間		平成23年~	評価日	令和2年7月2日	
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
事務事業の内容	事務事業の目的	環境センターから搬出される焼却灰及びばいじん並びにペットボトル、容器包装プラスチック類等の資源物については、市外又は県外に処理委託しているため、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正に処理されているか現地確認を行う。 民間最終処分場行政代執行事業に係る費用負担を行う。			
	事務事業の経緯	【民間最終処分場行政代執行事業に係る費用負担】旧上福岡市は、焼却灰等を福井県敦賀市内の民間会社に処理委託していた。当社は無許可で最終処分場を増設し届出容量を超える廃棄物の処分を行い、また、浸出水の処理を適正に行わず河川放流していた。当社は平成14年に倒産したため、福井県が代執行による対策工事を行い、当該費用に対し敦賀市と協定書を締結し費用負担を行っている。			
	事務事業の概要	現在、焼却灰及びばいじんは、市外に処理委託（埋め立て）しているため、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき現地確認を行っている。また、ペットボトル、容器包装プラスチック類等の資源物についても同法に基づき現地確認を行っている。 旧上福岡市時代に処理委託してした福井県敦賀市の民間最終処分場の現状復旧費用について、敦賀市と協定書を締結し費用負担を行っている。			
	令和元年度の主な取組	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第4条（一般廃棄物の収集、運搬、処分等の委託の基準）に基づき現地確認を行った。 福井県敦賀市と民間最終処分場行政代執行事業費用負担に係る協定書を締結し費用負担を行った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.20	0.10	0.00
		人件費	1,620	798	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		1,620	798	0	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	11	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	507	523	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	40	40	0	
支出合計		2,178	1,361	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		2,178	1,361	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		19	12	0	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	現地確認の回数		
	説明	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第4条（一般廃棄物の収集、運搬、処分等の委託の基準）に基づき現地確認を行った回数を活動指標とする。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	11	16	0
	実績値	16	16	
指標	指標名	行政代執行費用		
	説明	敦賀市民間最終処分場行政代執行事業費用負担に係る協定書に基づき支出した費用を活動指標とする。		
活動	単位	千円		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	507	523	0
	実績値	507	523	
指標	指標名			
	説明			
活動	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく現地確認】</p> <p>1 現地確認業務内容</p> <p>(1) 最終処分場</p> <p>ア 一般廃棄物の処理の許可業者であることの確認</p> <p>イ 営業（開設）日時の確認</p> <p>ウ 最終処分場の容量や残容量の確認</p> <p>エ 埋め立て状況の確認</p> <p>オ 浸出水の水処理施設の確認</p> <p>カ 周辺地域の環境負荷（苦情等がないか）の確認</p> <p>(2) 中間処理施設</p> <p>ア 一般廃棄物の処理の許可業者であることの確認</p> <p>イ 営業（開設）日時の確認</p> <p>ウ 資源物等の処理工程の確認</p> <p>エ 周辺地域の環境負荷（苦情等がないか）の確認</p> <p>2 現地確認場所（処理委託先）一覧</p> <p>昭和電工(株) (株)スガワラ (株)関商店 (有)太盛りサイクルセンター サンエコサーマル(株) メルテック(株) (株)ウムヴェルトジャパン (株)国分商会 ジークライト(株) メタルリサイクル(株) 飯山陸送(株) 太平洋セメント(株) (株)青木商店 第一硝子(株) (株)金子商事 中村ガラス(株) 計16か所</p> <p>3 現地確認結果 問題なし</p>
	<p>【民間最終処分場行政代執行事業に係る費用負担】</p> <p>福井県敦賀市との協定書に基づき支出完了</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
統合	<p>現地確認に関する項目を「ふじみ野市・三芳町環境センター管理運営事業」に、敦賀市民間最終処分場行政代執行事業費用負担に関する項目を「3R推進事業」に統合する。</p> <p>廃棄物の処理委託をしている限り、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき1年に1回現地確認を行う必要があるため事業内容自体は継続が必要である。</p>
中長期的方向性	敦賀市への費用負担は、特別措置法に基づくものとなっているため、継続して費用負担を行う必要がある。
廃止	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		エコパ管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~			
	施策	20 循環型社会 - 資源循環型社会の構築を一層進めます -			
予算費目		一般会計 04衛生費 01保健衛生費 03環境衛生費			
所管部課		市民活動推進部 環境課(環境センター)		評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成28年10月31日~		評価日	令和2年7月2日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市立エコパ条例、公衆浴場法、埼玉県プールの安全安心要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	余熱利用施設エコパの適正な管理・運営を図る。			
	事務事業の経緯	平成28年10月31日から新環境センターへ移行した際に、旧広域ごみ処理施設建設室から業務を引継ぎ、平成29年度からエコパに関わる事業として独立の事業となった。			
	事務事業の概要	余熱利用施設エコパの管理・運営のモニタリングの実施をする。			
	令和元年度の主な取組	エコパのモニタリングを毎月実施し、管理・運営状況を確認するとともに、モニタリングの機会を通じて連絡・調整を図るとともに、必要に応じて業務内容の改善、指導を行なった。 また、6月8日に累計入館者数が100万人を突破し、100万人達成記念セレモニーを実施し、該当者への記念品の贈呈した。さらに6月15日に100万人達成記念イベント(カラオケ大会)を実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.60	0.70	0.64
		人件費	4,858	5,585	5,106
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.17
	人件費	334	3,338	0	
人件費計		5,192	8,923	5,106	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	144,173	144,077	147,804	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	129	133	134	
支出合計		149,160	149,795	153,044	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	36,726	35,725	37,535
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		112,434	114,070	115,509	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		984	997	994	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	エコパモニタリング業務		
	説明	余熱利用施設エコパの運営業務委託について、モニタリングを月1回実施、報告		
活動	単位	1回/月		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	12	12	12
	実績値	12	12	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>余熱利用施設エコパ運営は平成26年6月よりふじみのエコウェルズ㈱及びクリーン工房に委託しており、管理運営についてモニタリングを毎月実施している。</p> <p>エコパイベント</p> <p>4月 CDとび〜玉でマづくり(4日)、山田親子&チャップリン-歌謡ショー(13日)、波之上楽団 動画上映会(20日)</p> <p>5月 こどもの日お菓子配布(5日)、切り絵教室(18日)、ハワイアン&フラダンスショー、田植え(25日)</p> <p>6月 ビートルズサウンドコンサート(2日)、100万人達成記念コンサート(8日)、100万人達成記念イベント(15日)、じゃがいも堀り(22日)、ベンチャーズサウンズコンサート(23日)、エコパフェスタ(29日)</p> <p>7月 水中運動教室(2日)、ハワイアン&フラダンス(14日)、民謡コンサート動画上映会(21日) ちりめんモンスター(25日)</p> <p>8月 バーベキュー大会(11日)、ベンチャーズサウンズ動画上映会(18日)、身近な果物と野菜で発電実験(22日)、100万人記念カラオケ大会動画上映会(25日)</p> <p>9月 サックスコンサート(15日)、紙漉き体験(21日)</p> <p>10月 ビートルズサウンズコンサート(6日)、大黒美和子・歌謡ショー(20日)、くるみの亀&ペットボトル風車(26日)、</p> <p>11月 山田親子歌謡ショー動画上映会(17日)、ペットボトルでガチャポンマシーン(30日)</p> <p>12月 キッズ水泳教室(14日)、エコパカラオケ大会(15日)、ペットボトルで万華鏡(21日)、波之上楽団コンサート(21日)</p> <p>1月 歌謡ショー&お笑い演芸会(12日)、年忘れカラオケ大会動画上映会(19日)、ソーラーLEDランプをつくろう(25日)</p> <p>2月 地域の歴史講演会(8日)、琴の演奏会(16日)、船のペーパークラフト(22日)</p> <p>また、毎週水曜日サイクリングデー、毎週木曜日メンズレディースデー、毎週土曜日プール・カラオケ・卓球お子様タイム、地域デー、第3金曜日無料開放デーの設定。</p> <p>エコパの年間入館者数 平成29年度 211,708人 平成30年度 216,475人 令和元年度194,821人(令和2年3月休館)</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	エコパはふじみ野市・三芳町環境センターから発生する熱エネルギーを有効利用するとともに、市民のふれあい、交流及び健康の増進を図る目的で設立された施設であり、平成26年6月1日から令和13年3月31日まで指定管理者に管理運営を委託することになっている。
中長期的方向性	当初1日当たり200人程度の利用者で設計されているところ、現状は1日当たり700人近くの利用者となっている。また、施設の経過から高齢者が利用者の約95%を占めている。若年層の集客を伸ばす事業やサービスデーのあり方について、モニタリングを通じて指定管理者制度の趣旨を踏まえつつ、指定管理者と検討して行く。
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		最終処分場管理運営事業		前年度の方向性 廃止	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~			
	施策	20 循環型社会 - 資源循環型社会の構築を一層進めます -			
予算費目		一般会計 04衛生費 02清掃費 02塵芥処理費			
所管部課		市民活動推進部 環境課		評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成5年~		評価日	令和2年7月2日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令			
事務事業の内容	事務事業の目的	最終処分場の適正な維持管理を行い、地域住民の安全で快適な住民生活を確保する。			
	事務事業の経緯	旧大井町では、廃棄物の自区内処理の原則に基づき、焼却後の焼却灰を適正に埋立処分をするため、町内に最終処分場を設置し埋立処分を行ってきた。ごみ排出量の減量化及び資源化を推進したことや焼却灰の処理を埋立てからリサイクルに転換したこと、また、最終処分を県外の民間施設に委託したことにより、平成15年度以降は埋立を行っていない。現在は法に基づき施設の維持管理を行っている。			
	事務事業の概要	最終処分場の維持管理については、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令に基づき最終処分場の浸出水、周辺地下水の水質検査等を実施している。最終処分場の浸出水は、三芳町清掃工場に運搬し同工場内にある排水処理施設で処理している。			
	令和元年度の主な取組	<p>【最終処分場水質検査業務の実施】 一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令に基づき最終処分場の浸出水及び周辺地下水の水質検査を実施した。</p> <p>【最終処分場草刈業務】 最終処分場の適切な管理のため場内及び周囲に生えている草木の伐採を行った。</p>			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.40	0.40
		人件費	2,429	3,192	3,192
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,429	3,192	3,192	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	83	85	211	
	委託料	6,226	2,720	3,643	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	105	25	95	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	58	0	0	
支出合計		8,901	6,021	7,141	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		8,901	6,021	7,141	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		78	53	61	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	水質検査の実施回数		
	説明	水質検査を月1回（項目により年1回）行う必要があるためその回数を指標とする。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	12	12	12
	実績値	12	12	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	1	浸出水の処理量 令和元年度：163.14 t（平成30年度：43.4 t）
	2	<p>水質検査概要 <実施場所4地点及び検査項目数></p> <p>(1) 場内浸出水（浸出水貯留槽） 検査項目数 46項目 （有害物質38項目、生活環境項目7項目、ダイオキシン類）</p> <p>(2) 場外にある観測井戸の地下水 検査項目数 27項目 （有害物質25項目、塩化イオン、電気伝導率）</p> <p>(3) 個人宅井戸の地下水 検査項目数 28項目 （有害物質25項目、塩化イオン、電気伝導率、ダイオキシン類）</p> <p>(4) ㈱清水熔断加工センターの地下水 検査項目数 28項目 （有害物質25項目、塩化イオン、電気伝導率、ダイオキシン類）</p>
	3	<p>水質検査の結果 数値に異常はなく良好な状況である。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
縮小	平成28年10月以降、焼却灰（主灰、飛灰）は全量リサイクルしていること、埋立処分先として県外の最終処分場を2箇所（長野県、山形県）確保していること、環境センター第2駐車場及び運動公園を災害廃棄物の仮置場として計画していること等の状況を踏まえると当市の最終処分場の役割は終了しているため、今後は具体的な廃止の方法を検討し早期廃止を目指す。
中長期的方向性	費用対効果等を踏まえた検討が必要なため、施設の現状把握、埼玉県との調整、場合によっては民間業者の支援を受けながらの検討が必要である。
廃止	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	収集運搬事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト				
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~		
	施策	20 循環型社会 - 資源循環型社会の構築を一層進めます -		
予算費目	一般会計 04衛生費 02清掃費 02塵芥処理費			
所管部課	市民活動推進部 環境課(環境センター)		評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間	平成21~	評価日	令和2年7月2日	
個別計画 根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、資源有効利用促進法、ふじみ野市廃棄物の処理及び再利用に関する条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	一般廃棄物処理基本計画に従って、区域内の一般廃棄物を適正に処理する。		
	事務事業の経緯	平成28年10月31日よりふじみ野市・三芳町環境センターへ移行したため、平成29年度から上福岡清掃センター時の収集運搬事業の内、一般廃棄物収集運搬、不法投棄及び処理困難物の処分を行う。法令等に基づき、適正な業務の執行が義務付けられている。		
	事務事業の概要	家庭系一般廃棄物の収集及び運搬する業務を、計画的に実施する。		
	令和元年度の主な取組	令和元年度においても各ごみステーションから資源物やごみの収集・運搬を実施した。また不法投棄や動物の死体を運搬する業務も実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.34
		人件費	2,429	2,713
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.10	0.07
	人件費	167	3,338	
	人件費計	2,596	5,732	2,713
事業費	報酬	0	0	0
	賃金	0	0	0
	需用費	0	0	0
	委託料	674,191	689,966	713,220
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
	その他事業費	0	0	0
	支出合計	676,620	692,360	715,933
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	2,878
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
	一般財源	676,620	692,360	713,055
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		5,924	6,052	6,135

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	家庭系収集作業及び場内作業における事故 0		
	説明	家庭系収集作業及び場内作業における事故 0		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	0	0
	実績値	5	2	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和元年度 収集運搬事業の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集世帯数は、延べ621,742世帯 ・不法投棄の収集回数は、延べ18回 ・動物死体処理（のら猫等）は、延べ200体（平日）、21体（休日） <p>業務委託先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物収集運搬業務 ふじみ野市資源リサイクル協同組合 ・不法投棄処理業務 ふじみ野市資源リサイクル協同組合 ・動物死体処理業務 ふじみ野市資源リサイクル協同組合 <p>業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物収集運搬業務は、地域別収集カレンダーで決められた地区の決められた種類の資源物やごみをふじみ野市内の約3,700箇所あるごみステーションから、朝8時より収集を開始し、ふじみ野市・三芳町環境センター及び資源物リサイクル業者まで運搬し、小学生が下校する14時頃までになるべく収集を終了する業務。 ・不法投棄処理業務は、ふじみ野市内に不法投棄されたごみ等を収集しふじみ野市・三芳町環境センターまで運搬する業務。 ・動物死体処理業務は、のら猫等の死体をふじみ野市内の発見場所まで行ってダンボール等の箱に入れふじみ野市・三芳町環境センターまで運搬する業務。 <p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の業務を継続的に実施することで、市民の生活環境保全が維持される。
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	家庭系ごみの収集運搬は、市民の生活環境及び衛生上欠かせないものとなっており、令和2年度においても収集運搬中の安全を優先し、確保しながら事業を実施する。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		ふじみ野市・三芳町環境センター管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~			
	施策	20 循環型社会 - 資源循環型社会の構築を一層進めます -			
予算費目		一般会計 04衛生費 02清掃費 02塵芥処理費			
所管部課		市民活動推進部 環境課(環境センター)		評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成28年10月31日~		評価日	令和2年7月2日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、循環型社会形成推進基本法、ダイオキシン類対策特別措置法等			
事務事業の内容	事務事業の目的	ふじみ野市・三芳町環境センターの適正な管理・運営を図る。 法の趣旨に準拠し安全で適切な業務の遂行を図る。			
	事務事業の経緯	ふじみ野市・三芳町環境センターの供用開始に伴い、関係法令に基づき適正な管理運営を行う。			
	事務事業の概要	ふじみ野市・三芳町環境センターでの24時間焼却業務や分別・破砕等のリサイクル作業業務を行い、適正なごみ処理の運営を行う。 環境学習や施設見学などを展開し、更なるごみ減量を進める。ごみとして出されたリサイクル家具や自転車の販売を行う。			
	令和元年度の主な取組	モニタリングを通じてふじみ野市・三芳町環境センターの管理運営の確認、指導を行う。 熱回収施設等の精密機能調査(3年に1回)を実施した。2号炉系+リサイクル施設(8月6日~8日)、1号炉系+共通設備+リサイクル施設(10月2日~4日) 管理啓発棟での環境学習講座や市町の小学生の見学を実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.70	1.90	1.74
		人件費	13,764	15,159	13,882
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	1.65	1.27	1.62
	人件費	2,753	3,338	0	
人件費計		16,517	18,497	13,882	
事業費	報酬	0	0	2,475	
	賃金	3,810	3,142	0	
	需用費	254	500	1,253	
	委託料	436,606	510,464	516,424	
	使用料及び賃借料	49	66	109	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	21,626	20,451	18,084	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	1,760	2,347	1,972	
支出合計		477,868	552,129	554,199	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	100,299	97,779	240,834
		分担金・負担金	87,062	101,846	52,230
		地方債	0	0	0
		基金	32,120	30,833	31,648
		その他	125,956	131,440	119,023
一般財源		132,431	190,231	110,464	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		1,159	1,663	950	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	環境センター運営モニタリング業務		
	説明	ふじみ野市・三芳町環境センターの運営モニタリング結果を毎月報告		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	12	12	12
	実績値	12	12	12
指標 2	指標名	環境啓発事業の1月あたりのコマ数		
	説明	管理啓発棟を軸とした環境啓発事業を実施		
活動	単位	コマ		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	2.00	2.00	2.00
	実績値	2.16	1.75	2.00
指標 3	指標名	管理啓発棟の1日あたりの来場者数		
	説明	1日あたりの管理啓発棟の来場者数（20日/月で計算） 実績値の減少は、学校見学の対象学年が減少したことによるため。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	50.00	50.00	50.00
	実績値	28.00	25.26	50.00

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営：平成28年10月31日より（業務はふじみのエコウエルズ㈱に委託） ・ 職員数：52人（内、管理部門7人、熱回収部門28人、リサイクル部門17人） ・ 熱回収施設（可燃ごみ焼却施設） 運転期間：年365日、24時間体制 焼却処理1号炉（262日、17,425 t）2号炉（239日、15,732 t） 排ガス監視体制：NOx、SOx、CO、HCL、Hg、ばいじんについて常時測定（国の定める基準より厳しい値で自主管理値を設定）、ダイオキシン類を定期測定 ・ リサイクルセンター（資源物等中間処理施設） 内部処理：不燃ごみ 破碎・選別（焼却、埋め立て、アルミ再資源化、鉄資源化） 容器包装プラスチック スtockヤードで保管 容器包装以外プラスチック 破碎後Stockヤードで保管、積み替え 飲料かん 磁力選別後、圧縮保管 ペットボトル Stockヤードで保管 その他資源 自己搬入等のごみ選別後については品目ごとに保管） ・ 管理啓発棟（令和2年3月新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館） 会館日時：8時30分～17時（火～土曜日） 併設のリサイクル工房は9時～16時 年始1/1～1/3は休館 2階 多目的室1, 2, 3 3階 研修室 リサイクル工房：リサイクル家具販売（常設販売）、リサイクル自転車（毎月第3土曜日に抽選）
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	ふじみ野市内及び三芳町内から発生したもやすごみの処理（熱回収施設）や、もやさないごみ等の処理（リサイクル施設）を適切に行うことは、市民サービスに直結する業務であるため継続して実施する。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		資源物等運搬処分事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~			
	施策	20 循環型社会 - 資源循環型社会の構築を一層進めます -			
予算費目		一般会計 04衛生費 02清掃費 02塵芥処理費			
所管部課		市民活動推進部 環境課(環境センター)		評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成28年10月31日~		評価日	令和2年7月2日
個別計画 根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、家電リサイクル法、容器包装リサイクル法、資源有効利用促進法、ふじみ野市廃棄物の処理及び再利用に関する条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	一般廃棄物処理基本計画に従って、区域内の一般廃棄物を適正に処理する。			
	事務事業の経緯	一般廃棄物収集運搬、資源物処理、運搬、不燃物処分に伴う業務を行っている。法令に基づき、適正な業務の執行が義務づけられている。			
	事務事業の概要	資源物の再資源化及び不燃物の処理を行う。			
	令和元年度の主な取組	資源物の再資源化及び不燃物の処理にかかる事務手続(契約事務、データ処理、月々の支払い・請求、事業者との調整など)を行った。また、処理委託している事業者の現地確認を実施した。小型家電の処理が逆有償となったことから、その処理について見直しを行った。			

2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.10	1.10	1.13
		人件費	8,906	8,776	9,016
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.17
	人件費	334	3,338	0	
人件費計		9,240	12,114	9,016	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	228	238	240	
	委託料	265,375	269,773	320,290	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	248	278	401		
支出合計		274,757	279,064	329,947	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	85,795	88,897	117,432
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	49	0	0
一般財源		188,913	190,167	212,515	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		1,654	1,662	1,828	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	場内作業における事故0		
	説明	場内作業における事故ゼロ		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	0	0
	実績値	2	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和元年度 資源物等運搬処分事業の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器包装プラスチック、びん類の処分を容器包装リサイクル協会へ委託する手続きを行った。また、容プラ保管事業者については前年評価結果を基に選定した。 ・処分事業者については、実際に処理場に赴いて現地確認を行い、処理状況の把握や現状の聞き取りを行った。なお、廃棄物処理法に規定される現地確認の必要のない事業者についても実施した。 <p>業務委託先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼却灰リサイクル業務 太平洋セメント(株) ・ばいじんリサイクル業務 太平洋セメント(株) ・焼却灰運搬業務 (株)協和清掃運輸 ・ばいじん運搬業務 新井運送(株) ・焼却残渣運搬・処分業務 ジークライト(株)、飯山陸送(株) ・ばいじん運搬・処分業務 ジークライト(株) ・容器包装プラスチック類ベール化処理業務 (有)太盛 ・容器包装プラスチック類ベール化処理業務 (株)スガワラ ・容器包装以外プラスチックリサイクル処理業務 (有)太盛 (株)関商店、サンエコサーマル(株) ・びん選別等業務委託 ふじみ野市資源リサイクル協同組合 ・不燃物(ガラス・せともの等)運搬業務 (株)協和清掃運輸 ・不燃物(ガラス・せともの等)処理業務 埼玉県環境整備センター ・廃蛍光管運搬・処理・再生業務委託 (株)ウム・ヴェルト・ジャパン ・廃タイヤ運搬・処理・再生業務 (株)国分商会 ・廃乾電池運搬・処理・再生業務 野村興産(株) <p>効果</p> <p>ふじみ野市内及び三芳町内から発生した資源物等の適正処理の確認と目標としているリサイクル率に達成した。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>資源物等は委託業者が適正な処理を行っているか、現地確認する。</p> <p>もやすごみについては、ふじみ野市・三芳町環境センター熱回収施設で焼却処理され、主灰と飛灰及び焼却残渣(磁選物、不適物)になっている。</p> <p>主灰と飛灰については、太平洋セメント熊谷工場でリサイクル(セメントの原料)されており、最終処分(埋立)するのではなく今後についてもリサイクル(セメントの原料)となるように継続して委託する。</p>
中長期的方向性	
継続	<p>また、委託先の評価を行い、適正処理可能業者のなかから費用対効果の高い事業者を選定する。</p> <p>今後とも、小型家電の処理費が増額となる見込みであることから、その処理について見直しを図る。</p>

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		旧上福岡清掃センター跡地管理事務		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ~豊かな水と緑が調和したまち~			
	施策	20 循環型社会 - 資源循環型社会の構築を一層進めます -			
予算費目		一般会計 04衛生費 02清掃費 02塵芥処理費			
所管部課		市民活動推進部 環境課(環境センター)		評価責任者	宮寺 和美
事務事業期間		平成31年4月1日~		評価日	令和2年7月2日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	保管庫(1棟)と雨水流出抑制施設の適正管理。			
	事務事業の経緯	旧上福岡清掃センター解体後の跡地の有効利用に伴い、駐車場(70台)及び保管庫(1棟)と雨水流出抑制施設を設置し維持管理を行っていく。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 雨水流出抑制施設の排水ポンプ等の維持管理を行う。 雨水貯留槽の水質検査を行う。 環境センター第2駐車場の維持管理を行う。 			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 雨水流出抑制施設の排水ポンプ等の点検及び清掃を実施した。 雨水貯留槽の水質検査を実施した。 消防設備保守点検を実施した。 場内の除草業務を実施した。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.34
		人件費	2,429	2,713
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
会計年度任用職員	従事人数(人)	0.10	0.07	
	人件費	166	3,338	
人件費計		2,595	5,732	2,713
事業費	報酬	0	0	0
	賃金	0	0	0
	需用費	364	407	536
	委託料	758	798	1,586
	使用料及び賃借料	7	0	0
	工事請負費	7,506	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費	257	257	279	
支出合計		11,321	3,856	5,114
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源		11,321	3,856	5,114
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		99	34	44

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・貯留槽水質検査業務委託（ダイオキシン類、重金属溶出試験等）令和元年12月3日サンプリング 受託者 エヌエス環境㈱東京支社 ・ポンプ設備点検・清掃業務委託（令和元年12月6日実施） 受託者 鶴見製作所 ・消防設備保守点検業務（1回目・・・令和元年7月19日、2回目・・・令和2年1月29日実施） 受託者（有）協同防災設備 ・場内除草清掃等業務（令和2年2月5日～2月12日実施） 受託者 公益社団法人 入間東部シルバー人材センター
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	雨水流出抑制施設の雨水は福岡江川に排出されることから、施設の維持管理と排出抑制について、適正な状態を維持して行く。
中長期的方向性	
継続	